

未来のために、自然エネルギーの調査を

夏の教室はガマンの限界、エアコンの設置を

福島第一原発事故で放出された放射性物質がセシウム換算で広島型原発の168倍にのぼることが明らかになり、野田首相も認めました。事故はいまだ収束していません。セシウムは狭山茶にも影響し入間市のお茶関係者に大きな打撃をもたらしています。

放射能対策、損害補償の早期実現とともに、未来を見据えたエネルギー政策の転換を入間市も展望していかなければなりません。

私は、市長に「入間市での自然エネルギーの可能性をまずは調査するべきではないか」と提案しました。

市長は、「予算をつけて調査す

る考えはない」と消極的答弁。

膜型の太陽光発電システムの公共施設への設置に関しては、「研究に値する」との答弁を引き出しました。

耐震化・クーラーの設置で子どもを大事にする入間市を

小中学校へのエアコン設置に「来年の状況を見て判断する」との昨年の答えから、「今年の暑さをどう判断するのか」と問うと「設置は考えていない」とつめたい答弁。

「アンケートをとることで、生徒、保護者の意見を聞くべきでは」と質問しましたが、「その考えはな



い」とのこと。

私は「アンケートは必要」と強く求めました。

小出わたるの連絡先

どんなことでもお気軽にどうぞ

住所 〒358-0053 入間市仏子1170-4
電話 04(2932)7884
携帯 090(6542)3883



西武中学校

市議会つうしん

近況・活動・9月議会の報告

NO. 10

2011年10月

仙台へボランティアに
入間市も自然エネルギーで地産地消を
エアコン設置で学習環境の改善を



復興のため力を合わせましょう

共産党入間市委員会が仙台でボランティア

ようやく暑い夏が終わり、川原に咲くコスモスに見とれる秋が来ました。お元気ですか。

私は、移動はほとんど自転車、エレベーターも使わないという、体力エネルギー強化を相変わらず続けていますが、秋になっておいしいものの誘惑に負け体重は増加気味です。リバウンドとの戦いが今の私のテーマです。この苦戦は小出わたるのブログに掲載されています。ぜひご覧ください。

岩手県宮古市に続き、宮城県仙台市へボランティアに

5月に続き、8月8日～10日

まで宮城県仙台市にボランティアに行ってきました。

共産党宮古地区委員会がボランティアセンターを立ち上げ埼玉県委員会が援助しているのです。

石田議員を含む5人が入間から参加し、大汗をかいてきました。

仙台平野はさえぎるものがなく軒並み津波にやられていました。

私は、家も田も流されてもアパートに住んで農業再開を目指しているお宅に行きました。震災後、手がつけられず、背丈ほどに伸びた雑草刈りを行いました。

自転車&ノーエレベーターで培った体力を今後も役立てていきたいと考えています。

入間市だけが9270万円の負担増に

9月定例市議会

消防力低下の広域化はやめよ

入間、狭山、所沢、飯能、日高の消防をひとつにする消防広域化が進められています。広域化されると、管轄面積は406km²(入間市の面積44km²)管轄人口は79万人にのぼります。

入間のはしご車は1台に削減

広域化後は、現在5市で9台あるはしご車が6台に減り、化学車も6台から4台に減らされます。入間市では藤沢分署のはしご車が削減され、市内のはしご車は1台しか残りません。これでは消防力の低下を招き、大規模な災害時に対応することができません。

市は、広域化の理由について「財政効率化」「大規模災害に対応しやすい」「スケールメリットにより消防力が強化できる」と



広域化で削減される藤沢分署はしご車

説明しています。しかし、広域化で全体の財政負担は16億円も減るのに、入間市のみ5年間で9270万円も負担が増えます。これでは、広域化しても入間市にとって何のメリットもありません。

大震災の教訓活かした消防を

入間市の消防職員の数、国の指針に

	消防広域化と現在の単独消防との費用比較 (は広域化での軽減額)					5年間の増減額
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
入間市	2868万円	3094万円	2267万円	3385万円	3844万円	9270万円
飯能市	7711万円	1億4369万円	1億4984万円	1億6760万円	1億8558万円	7億2383万円
日高市	4540万円	8475万円	9233万円	1億0496万円	1億1773万円	4億4519万円
狭山市	7919万円	8706万円	5161万円	6658万円	6587万円	3億033万円
所沢市	232万円	9616万円	5536万円	6263万円	3413万円	2億061万円
広域消防	1億7070万円	4億4262万円	3億2648万円	3億6793万円	3億5488万円	16億263万円

市民の食の安全確保・茶業関係者を守る対策を

県は、埼玉県産の製茶から暫定規制値を超える放射性セシウムの検出が相次いだことを受け、県内の業者に全製茶の出荷自粛を要請しました。

市民からも食の安全を守れとの声が強くなっています。小金井市の検査で入間市産のお茶からも、暫定規制値を超える放射性セシウムが検出されたことから不安がひろがっています。

埼玉県は、全製茶の調査を実施し、取

りながらも充足率を満たしていません。消防力の強化と言うのなら、不足している職員を増やすことこそ必要です。

県内の多くの自治体では、矛盾の多い広域化を進めていません。国、県いいなりの広域化はやめ、入間市として「住民のいのちと財産を守る」という立場で、大震災の教訓を活かした消防力の強化をはかるべきです。

り扱う製品の安全性が確認された後、出荷の自粛を解除する方針です。茶業関係者からは将来に対する意欲、希望がもてないなどの声が出ています。

飲用茶など食品に対する問い合わせは、入間市農政課で受け付けています。

入間市議会では、今回の事態を受け「放射性物質による製茶の被害にたいする早急な対策を求める意見書」を全会一致で採択しました。

「原子力安全庁」設置に関する意見書

日本共産党入間市議団提出の「原子力安全庁」設置に関する意見書が全会一致で採択されました。

意見書は、政府に以下の4点を要請しました。

- 現在の原子力安全・保安院は廃止すること。
- 推進機関からも電力会社からも、完全に独立した組織とすること。
- 規制機関としてふさわしい行政職員・技術者の力を結集すること。
- 原子力施設に対して、強力な規制の権限と執行の体制を与えること。

共産党議員の一般質問

石田よしお議員

消防広域化・運動公園の桜並木保全

小出わたる議員

自然エネルギー・学校にエアコンを
吉沢かつら議員

中3まで医療費無料化を・行政改革
安道よし子議員

平和のまちづくり・放射能被害対策

日本共産党市議会報告

2011年10月

発行/日本共産党入間市議会議員団
連絡先/電話2932-4415 Fax2932-5632

石田よしお 2964-4048 070(5086)2075
安道よし子 2962-8082 090(4811)0553
吉沢かつら 2964-0208 090(3514)3077
小出わたる 2932-7884 090(6542)3883